

大阪府アドプトフォレスト 豊能町切畑ふれあいの森づくり 環境保全活動を実施！！(近畿支部)

実施日：平成25年9月21日(土)
場 所：大阪府豊能郡豊能町切畑
参 加：69名(組合員等とその家族他)

回胴遊商では、環境保全活動の一環として、平成20年11月、大阪府豊能郡豊能町切畑において、全国の組合員等からボランティアを募り植樹活動を実施し、平成21年4月より毎年組合員等とその家族らが参加して下草刈り等を実施しています。この活動は、大阪府が事業者等に対して森づくりに参画することを仲介する「アドプトフォレスト制度」を利用したもので、昔ながらの田園風景が残るこの土地で荒れ放題になっていた竹林を、緑豊かな森に復活させることを目的としています。

近畿支部では、荒廃した竹林を豊かな広葉樹の森にするため、5年の協定期間が経過した本年、この取り組みを長期的なものとして捉えていることから、大阪府などとの協定を更に5年間延長し、平成30年まで組合員等が定期的の下草刈り等の作業を行うことで、植樹した苗木を保護するとともに森林育成を図ることにいたしました。

今年度も各地区若しくは支部単位で地域に根ざした活動として実施することとなり、近畿支部では9月21日(土)に組合員等とその家族らを含めた69名のボランティアが参加して下草刈り等の作業を実施いたしました。

この下草刈り等の作業は、植樹した苗木の保護と森林育成のために必要不可欠な作業となっており、この作業を行うことで、竹林を伐採した後に残る竹の根が周囲の森林に広がり、本来あるべき生態系を破壊し、他の木を枯らせてしまうなどの被害や、植樹した苗木が回りの草木の成長に負けて枯れてしまったり、曲がったりしてまう等の弊害を防ぐことによるものです。

下草刈り等の作業終了後は別の場所に移動して近畿支部の活性化及び組合員等の親睦を図るための懇親会を開催しました。



[下草刈り等の作業風景]



①作業に先立ち挨拶をする鈴木支部長。



②場所別に4班に分かれて作業開始。



③作業を終えて休憩する参加者たち。



④竹の伐採をしました。



⑤作業終了後に参加者全員でバーベキュー。



⑥記念植樹した木もこんなに大きく育ちました。